おいても欠かせない一冊といえるのではな 世史・日本史の枠をこえて、日本文化論に 人の特質を見事に解き明かしてみせた。中 ありようを論じて、中世の日本社会と日本 性を縛る、そんな「成熟した儀礼社会」の いだろうか。

(新書判 二三二頁 二〇一一年一一月 中央公論新社 税別八〇〇円 (伊藤啓介 京都大学非常勤講師

슺 告

でご報告申し上げます。 学研究会理事・評議員会におきまして 左記の事項が可決、 承認されましたの

去る六月二〇日に開催されました史

一、平成二十四年度決算報告

一、役員の交替

1 退任

常務理事 小山 哲(→理事

事 高嶋 勝山清次、泉 拓良 航 (→評議員)

理

員 夫馬 小松久男、 氣賀澤保規、井上裕正 進、高橋誠一 和田晴吾

評

議

溝口常俊

庶務委員 編集委員 朝倉槇人、 佐野光宜、井上

杉本陽奈子

国立歴史民俗博物館研究報告

(国立歴史民

2 新任

常務理事 吉川真司 永原陽子(↑理事) ↑理事 新

一、平成二十五年度予算案

受 贈 誌

(二〇一三年三月二一日~

関西学院史学(関西学院大学史学会)四〇 二〇一三年四月一五日)

国立歴史民俗博物館研究報告(国立歴史民 俗博物館)一七八 ア文化研究所)四七 アジア文化研究所研究年報(東洋大学アジ

俗博物館)一七八別冊

史淵(九州大学大学院人文科学研究院)

関学西洋史論集 (関学西洋史研究会) 五〇

任

哲

理

事

小山 吉井秀夫(←評議員) (↑常務理事

永原陽子、

南出眞助

高嶋 飯塚一幸、 (↑常務理事 森田憲司

評

譲

檀上 矢野健一、 霓、 青山宏夫 吉澤誠一郎

井出健人、 南雲泰輔、 増永菜生 小野容照

庶務委員 編集委員